ユーザーズマニュアル

Ver. 3.0J



iAUDIO M3

BBE Mach3Bass MP3 DIGITAL AUDIO Windows Media Mac OS JetAudio

一般

- iAUDIOはCOWON SYSTEMS, Inc. の登録商標です。
- 本製品は一般消費者用であり、営業目的で利用することはできません。
- 本マニュアルは、COWON SYSTEMS, Inc が全ての著作権を所持しており、本マニュアルの一部または全部を無断で配布することは許可しません。
- JetShell,JetAudioの MP3変換機能を利用して作成したMP3ファイルは、個人的な用途ではない商業的な目的やサービスのために使用することはできず、これに反した場合は各国の著作権法に抵触します。
- COWON SYSTEMS, Incは、レコード/ビデオ/ゲーム関連の法令を遵守します。これ以外、一切の成文化された関係法令を遵守することは、実際のユーザーの責任です。
- 製品をお買い求めになったユーザーが特化されたiAUDIOだけのサービスの提供を受けるためには、www.cowonjapan.com にてオンラインユーザー登録をすることをお勧めします。技術サポート、修理、アップデート情報など正式ユーザー登録を済ませたユーザーにのみ提供される各種の特化された特典を受けることができます。
- 本マニュアルに記載されている各種の例題の原文及び図表、写真は製品の改善によって予告なく変更されることがあります。

BBE 関連

- BBE Sound,Inc.のライセンスによって生産されています。
- USP4638258、5510752及び5736897に基づいて、BBE Sound,Inc.がライセンス権を保有しています。
- BBEとBBEシンボルは、BBE Sound,Inc.の登録商標です。

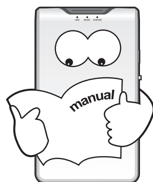
DIGITAL PRIDE
COWON
All rights reserved by COWON SYSTEMS, Inc.

1. iAUDIO

2. JetShell

製品使用における注意事項

ユーザーズマニュアルに記載されている事項以外の他の目的で製品を使用しないでください。



梱包箱類、ユーザーズマニュアル、付属品をさわる場合、手を切らないように注意してください。

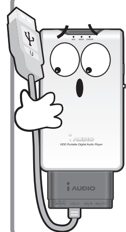




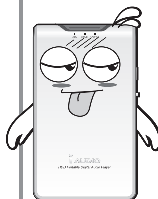
機器を水に浸したり、湿気の多い場所に長時間保管しないでください。
浸水による故障として分類された場合は、保証期間内であっても無償修理サービスを受けることはできません。また有償でも修理サービスができない場合や、全く使用できない場合もあり得ることもあります。

機器を任意で分解または改造すると、無償修理サービスを受けることはできず、サービス範囲から除外されます。



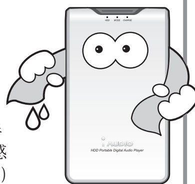


USBケーブルをパソコン及び機器に差し込む場合、方向にご注意ください。
USBケーブルを逆に差し込むと、パソコンまたは機器が破損したりする恐れがあります。
USB接続ケーブルを無理に曲げたり、重い物が載った状態で使用しないようにしてください。



使用中、機器から焦げるにおいがしたり、熱がひどく発生したりする場合はすぐに使用を止め、コウォンジャパンサポートセンターにお問い合わせください。

濡れた手で機器を使用すると、誤動作が生じる場合があります。電源プラグは水気がない乾いた手で持って取り扱ってください。(感電の原因になる恐れがあります。)



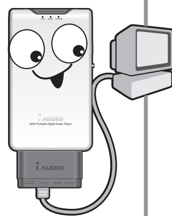
ボリュームをアップした状態で、長期間聴くと聴力に問題が生じます。



製品を使用する際、静電気の発生が激しい所では誤動作が生じる場合がありますので、ご注意ください。

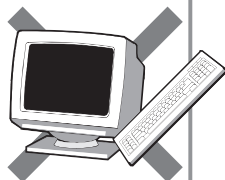


重要なファイルは、いつもバックアップを取ってください。本体のアフターサービス時、機器の中に保存したあらゆるデータは削除される場合があります。尚、サポートセンターでは機器の中に保存されたファイルはバックアップいたしません。アフターサービス時のデータ消失に関しては、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。

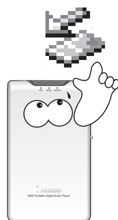




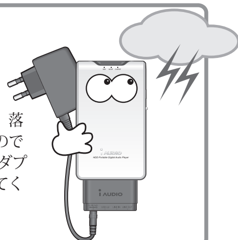
AC 電源アダプターとUSBケーブルは必ず、COWON SYSTEMS, Inc. で提供する部品をお使いください。



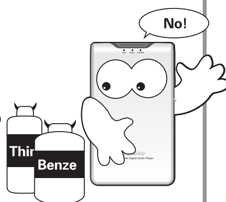
パソコンと接続する場合、必ずメインボード自体のUSBポートまたは USBHOST カードの USBポートだけをお使いください。その他の一切の外部USBハブは絶対に使用しないでください。(例:キーボードのUSBポート、外部USBハブ…)



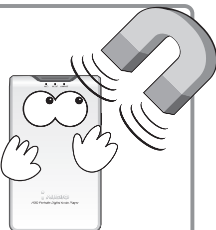
クレイドルやサブパックにUSBケーブルで接続した状態で iAUDIOを取り外す場合は、必ずWindowsの'ハードウェアを安全に取り外す'、'ハードウェアの取り外しまたは取り出し'機能を利用してください。



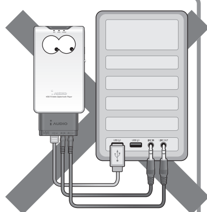
雷、稲光がする悪天候時には、落雷及び火災の危険がありますので、必ずパソコン本体及びACアダプターの電源コンセントを抜いてください。



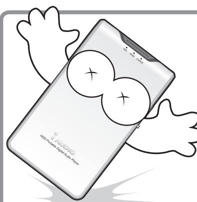
製品をお手入れする時は、柔らかいフランネルのような素材の乾いた布をお使いください。(水/洗浄液/ベンジン/界面活性制などの使用は絶対禁止)



磁石または直接的な磁場の近くに製品を置かないでください。故障の原因になる場合があります。



クレイドル(またはサブパック)のライン入出力端子とUSBポートを同時にパソコンに接続しないでください。 製品の電源がオフになることがあります。必ず必要な端子だけに接続してください。



製品を落としたり、衝撃を加えたりしないでください。故障の直接的な原因となり、無償修理サービスを受けることができません。

iAUDIOとは?
COWON SYSTEMS, Inc.で製造生産する MP3プレーヤーの固有ブランドとして、MP3ファイルと多数のマルチメディアの音声ファイル再生機能、FM ラジオ視聴/録音機能、内蔵マイクまたはライン入力端子を通したボイスレコーディング 及びダイレクトインコーディング機能をサポートする超小型ポータブルデジタル音響機器です.

携帯しやすく、洗練された感覚の超スリムタイプの超感覚デザイン
iAUDIO M3は 超小型スリップタイプ 103.7 mm X 60.8mm X 14.
2mmの小型デザインで携帯しやすく、本体の大部分が高品質アルミニウム外装で仕上げてあり、美しいデザイン感覚が自慢です。

超大容量ポータブルHDD型MP3プレーヤー
超大容量として20GB 製品基準 MP3ファイル5,000曲を保存することができます。
また1,000フォルダ、5,000個のファイルをサポートします。MP3、WMA、OGGなどの多様な音楽ファイルをサポートします。

内蔵型リチウムイオン充電池を搭載し、長時間再生
超節電回路を使用し、長時間再生が可能であり、完全充電後は最大14時間にわたる連続再生が可能です。(当社のテスト環境基準)

高品質ボイスレコーディング(音声録音)
内蔵した高品質マイクを通し、ボイスレコーダーレベルの音声録音(ボイスレコーディング)が可能です。この機能を利用して会議内容や講義内容を録音できます。

ダイレクトインコーディング (Line-in 録音)
外部音響機器の出力を入力し、1:1で録音できるダイレクトインコーディング機能を提供します。この機能は、録音端子と外部音響機器の出力端子を両方向ステレオケーブルで接続して録音することを意味します。この機能を利用すると、CDプレーヤー、MD (mini disk)、古いレコード盤(LP)の電蓄、テレビなどの音響機器から直接音声を取り込んで、iAUDIOに録音できます。

FM 放送の視聴/録音
FM放送を視聴でき、聴いている放送を機器に録音でき、特にこの機能は語学学習に有用に活用できます。そして検索したラジオ周波数を、チャンネル番号に保存することができるプリセット(Station)機能を提供します。

広幅6ライングラフィックLCDリモコン
128 X 96 dot,6Line 4Gray LCDと LEDバックライトを搭載。一目でで機器の全般的な動作状態を確認することができます。

全世界が認めた最強音場
全世界が認めた iAUDIOだけの強力で繊細な最強のサウンドを提供します。
iAUDIOはあらゆる音場効果を利用することができます。

- BBE : 音楽を鮮明にする音場効果
- Mach3Bass : 超低域を強調するベースブースター
- MP Enhance : 損失した音の部分を補う音場効果
- 3D Surround : 空間感を生かす立体音響

ファームウエアのダウンロードでアップグレードも簡単に
ファームウエアのアップグレード機能を利用して、簡単に性能をアップでき、持続的なファームウエアの提供で実際のユーザーの要求と提案をサポートします。

リムーバブルディスク機能
USBケーブルでPCに接続すると、OS上でiAUDIOはリムーバブルディスクとしてすぐに認識され、すぐに外付け型ハードディスクとして動作します。iAUDIOは携帯用USBドライブとしても使用できます。

MP3 変換(インコーディング) ソフトウェアを提供(英語版)

iAUDIO パッケージに含まれているファイル転送ソフトウェアであるJetShell には、CDにある音楽を簡単に早く MP3ファイルに変換して転送する機能があるので、利用者が持っている Audio CD 音楽を iAUDIOで聴くことができます。

JetAudio 提供(英語版)

世界的な統合マルチメディア再生ソフトウェアである JetAudioを提供します。

パッケージの構成品



iAUDIO (MP3プレーヤー本体)



LCDリモコン



バンドルイヤホン



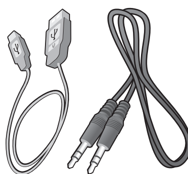
インストール CD (JetShell,JetAudio)
ユーザーズマニュアル



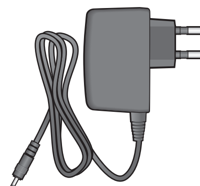
専用キャリングケース



サブパック



USB 2.0 ケーブル、Line-in 録音ケーブル



AC 電源 アダプター



クレイドル(オプション)
※日本向け製品では標準品

注意：記載の図柄はイメージですので実物と異なる場合があります

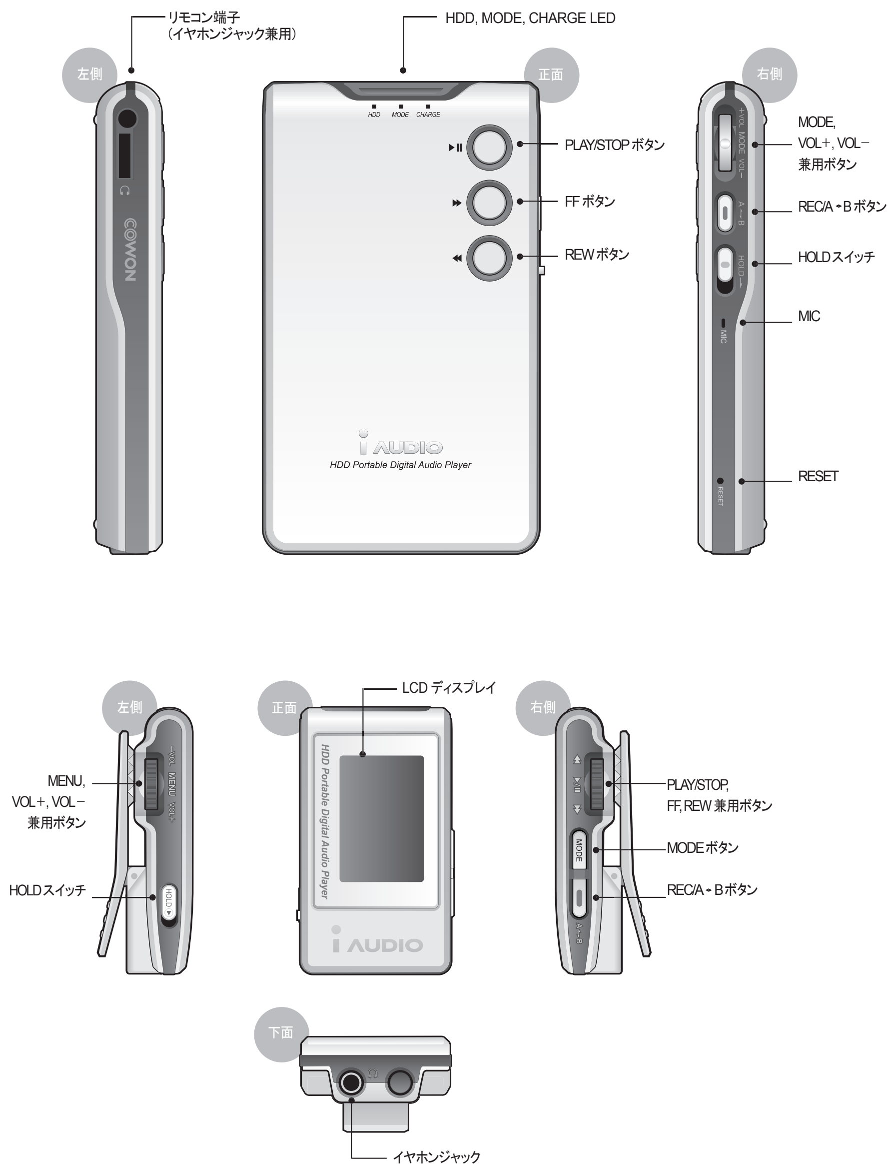
機能

- MP3、OGG、WMA、ASF、WAV再生、FMラジオ放送の視聴及び録音、音声録音、Line-In録音
- HDD内蔵 (20GB)
- 6Line 4Gray グラフィックLCDリモコン (ブルーバックライト)
- USB 2.0 インターフェース
- 長時間再生 :最大14時間再生 (当社のテスト基準、バックライト等の設定条件により異なります)
- マルチリンガルサポート
- 統合ナビゲーター機能
- 再生/一時停止/停止、録音/録音中、一時停止
- 次のトラック/前のトラック、高速早送り/高速巻き戻し
- 区間無限リピート
- Resume、FadeIn、AutoPlay機能サポート
- サーチ速度、Skip速度の設定
- ボリューム(デジタル40段階)
- 多様なEQ及び音場効果
  - ユーザ調節が可能な 5バンド EQ
  - ノーマル、ロック、ポップス、ジャズ、クラシック、ボーカル、ユーザー
  - BBE、Mach3Bass、MP Enhance、3D Surround
- ホールド機能
- バックライト ON 時間調節、スクロール速度調節、スクロール方向選択、Contrast調節、節電自動終了、Sleep タイマー
- ファームウエアダウンロード、ロゴダウンロード
- ID3V2,ID3V1,FileName サポート
- 機器情報確認 (ファームウエアバージョン、HDD 全体容量、HDD 使用量、全体フォルダ数、全体ファイル数)
- MAC OSサポート (データ転送のみ対応)
- ソフトウェア
  - ジェットシェル(ファイル転送、MP3/WMA/AUDIO CD PLAY、MP3 ENCODING)※英語版
  - JetAudio (統合マルチメディア再生ソフトウェア)※英語版

仕様

ファイルサポート	MPEG 1/2/2.5 Layer 3、WMA、OGG、ASF、WAV (11/22/44Khz、16Bit、MONO/STEREO)
本体ディスク容量	20GBハードディスク
PCインターフェース	USB 2.0 (Max.480M bps)
バッテリー	リチウムイオン充電池 (最大連続再生14時間) ※メーカーテスト環境にて
電源	ACアダプタ DC 5V 1.5A ~ 3A
充電時間	約3時間(AC 電源アダプター使用時)
ボタン	リモコン: PLAY/PAUSE、FF、REW、MENU(NAVI) 、VOL +、VOL −、MODE、REC
	本体: PLAY/PAUSE、FF、REW、Mode、VOL +、VOL −、MODE、REC
スイッチ	Hold
表示	128 X 96 dot、6Line 4Gray LCD 、LEDバックライト搭載(日本語ファイル/TAG表示対応)
SNR	95 dB
出力周波数	20Hz~20KHz
出力	16 Ohm イヤホン : 20mW+20mW
寸法	103.7 mm x 60.8mm x 14.2mm (高さ x 幅 x 厚さ)
重さ	136g (内蔵バッテリー含む)

各部の名称

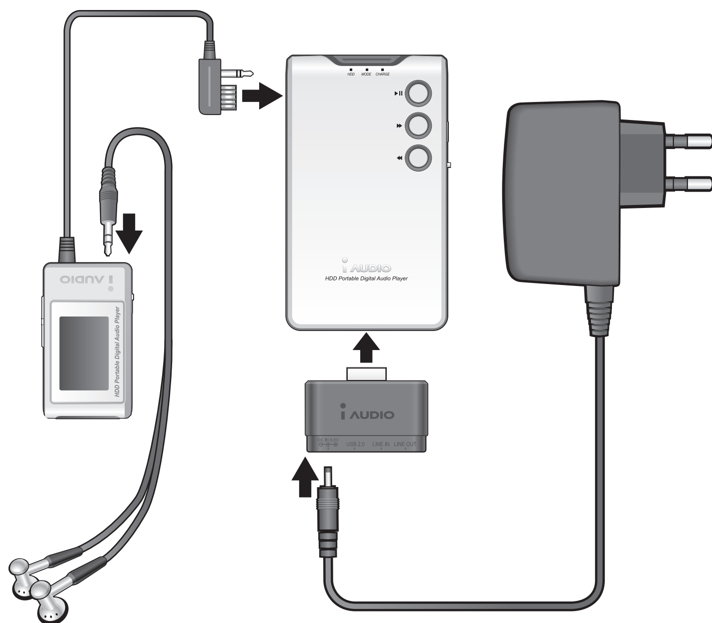


リモコン端子
（イヤホンジャック兼用）
HDD, MODE, CHARGE LED
左側
正面
右側
HDD MODE CHARGE
PLAY/STOP ボタン
FF ボタン
REW ボタン
MODE,
VOL＋, VOL－
兼用ボタン
REC/A↔B ボタン
HOLD スイッチ
MIC
RESET
COWON
iAUDIO
HDD Portable Digital Audio Player
LCD ディスプレイ
左側
正面
右側
MENU,
VOL＋, VOL－
兼用ボタン
HOLD スイッチ
PLAY/STOP,
FF, REW 兼用ボタン
MODE ボタン
REC/A↔B ボタン
下面
イヤホンジャック

AC 電源アダプターを使用するには

1. 使用上の安全のために、必ず付属のAC 電源アダプターをお使いください。

2. アダプターを機器の 5.0V DC ソケットに接続してから、主電源ソケットに接続してください。



USBの接続のしかた

注意事項

- 必ず製品に付属（またはCOWON SYSTEMS, Inc.が提供した）のUSBケーブルを使用してください。
- USBハブは絶対に使用しないでください。

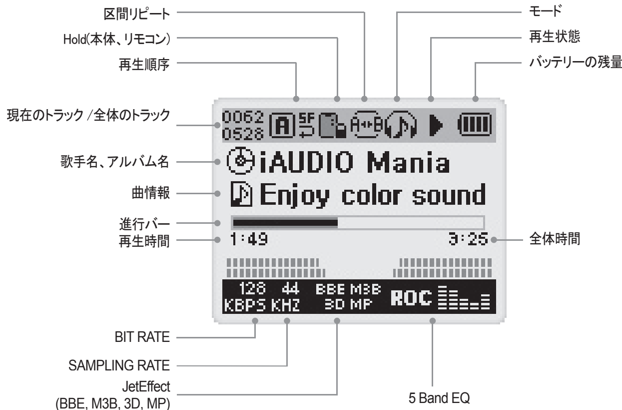
サブパックに接続するには

- サブパックをiAUDIO本体の下段のコネクターに接続します。
- 接続後、サブパックの下段のUSBポートにパソコン本体と接続したUSBケーブルを接続します。

クレイドルに接続するには

- iAUDIO本体をクレイドルに取り付けます。
- クレイドルの背面のUSBポートにパソコン本体と接続したUSBケーブルを接続します。

LCD 表示パネル





バッテリーの残量アイコンは、バッテリーの使用可能時間を表します。
バッテリーを使用することによってアイコンの中の残量レベルが減ります。
一部のバッテリー/充電池の場合、保存された電力量を測定中、バッテリーマークのアイコンのレベル数が不規則に増減する場合がありますが、これは正常です。



バッテリーの使用量がほとんどなくなった場合、アイコンが点滅し始めます。
この時は AC 電源アダプターを接続して充電してください。
AC 電源アダプターがない場合、安全に終了してください。



ID3V2,ID3V1を使用する場合は、ディスクマークを使用して、歌手名 +アルバムの情報を表示します。表示設定が Filename やTAGに 歌手名情報がない場合は、フォルダマーク使用して、フォルダ名を表します。曲がルートフォルダに保存されている場合は、フォルダ名にRootと表示されます。

LEDライトによる状態要約

HDD LED
HDD 動作時に点灯 : 緑色

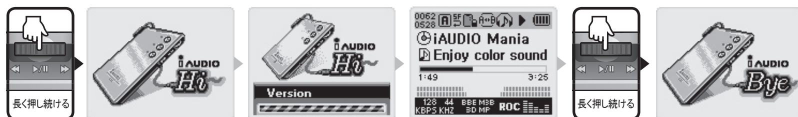
MODE LED
DIGITAL AUDIOモード : 青色
FM RADIOモード : 緑色
VOICE RECORDER, LINEIN RECORDERモード : だいだい色
充電モード : 完全充電時、「青緑色」点灯

CHARGE LED
充電中は「赤色」点灯し、充電完了後は消灯

基本的な操作のしかた

1. 電源オン/オフ

- 充電ジャックを接続したり、PLAYボタンを押し続けると、iAUDIOロゴが表示されながら電源がオンになります。
- 使用後、PLAYボタンをまた押し続けると、電源はオフになります。 (録音中、もしくはUSBモードでは電源をオフにすることはできません。)
- 電源をオフにする場合、AC 電源アダプターが接続している状態ならば、充電画面が表示されて充電モードになります。
- 充電状態でもまた PLAYボタンを押し続けると、以前の使用状態に戻ります。
- Auto Off、Sleep タイマー設定をするかどうかによって、自動で電源をオフにすることができます。



2. 充電するには

- 充電をするには、AC 電源アダプターをサブパック、またはクレイドル経由で本体に接続してください。 (機器がオフの状態の場合、自動で電源がオンになります。)
- 充電中の場合は、本体の'CHARGE 'LEDが点灯します。充電が完了すると、'CHARGE'LEDが消去します。
- AC電源アダプターが接続されたままで、電源をオフにすると、充電画面と共に充電モードになります。この場合2時間充電する場合、90%充電になります。
- 充電モードでは充電が完了すると、Charge completeが表示され、本体のMODE LEDが青緑色に点灯します。
- USBケーブルが接続されている時も充電されます。(但しAC電源アダプターでの充電に比べて充電時間が長く掛かります。 AC電源アダプターは500mA、USBは100mA)



充電中　充電完了　パソコンとUSBケーブルで接続中　パソコンより安全に装置を取り外す

3. USBを接続するには

▪ USB接続

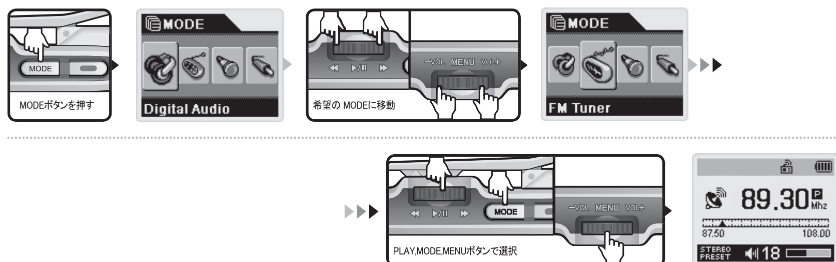
電源がオフの時や、使用中、あるいは充電中に USBケーブルを接続すると、USBモードになります。
(録音中には USBモードにはなりません。)
USBケーブルを接続すると、内蔵バッテリーを使用せずに USB電源で動作します。(最大500mA)
電流許容量が小さなUSBハブ(キーボードやモニターに付けられたバスパワー方式ハブ)に接続する場合、エラーメッセージが表示されると、正常に動作しません。

▪ USB接続の解除

- まず、Windows タスクバーの「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」をすると、LCDに取り外しOKの表示(OK to disconnect!)が表示されます。その後 USBケーブルを取り外してください。
- この時、AC 電源アダプターが接続されていない場合、自動で電源がオフになります。
- AC 電源アダプターが接続されている場合、自動で充電モードになります。
- 充電状態でまた PLAYボタンを押し続けると、再起動して新しくスタートします。
USB接続のキャンセル以後、最初の起動時にはハードディスクに存在する曲を検索する作業を行うので、必ず再起動が必要です。曲が多い場合、少し時間がかかります。
(ハードディスク容量を全て満たした場合 20〜25秒ぐらい)

4. モード切替の基本操作: Digital Audio、FM Radio、Voice Recorder、Line-in Recoder 4つのモードがあります。

例 : Digital Audioモードで FM Radioモードに切替する場合の操作のしかた



▪ モード選択画面を開くには

• 各モードで、他のモードに切替をするためには MODEボタンを押します。
• 4つのモードを選択できるモード画面が表示されます。

▪ モード項目の移動

• VOL −、VOL＋ ボタンもしくは FF、REWボタンで4つのモードアイコン中、希望のモードアイコンへ移動します。

▪ モード選択

• 希望するモードアイコンへ移動してから、MODE、PLAY、MENUボタンのうち、1 つを押して選択してください。
• 選択されたモードの画面が表示されてモード切替作業が完了します。

▪ モード切替のキャンセル

• モード切替画面で作業をキャンセルして、元のモードに戻りたい場合、RECボタンを押します。
• 以前のモード画面が表示され、モード切替作業がキャンセルになります。

▪ 簡単モード切替

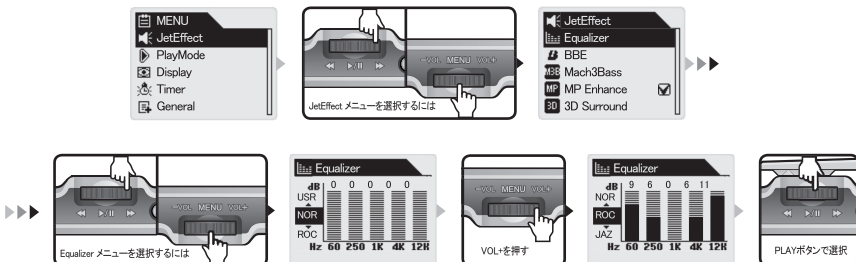
• 各モードで MODEボタンを長く押し続けると、すぐ次のモードに切替します。
• Digital Audio →FM Radio →Voice Recorder →Line-in Recorder の順に切替します。
  - 本体のMODEボタンは長く押し続けた時だけ動作します。(簡単モード切替のみサポートします。)
  - 本体のMODEボタンは短く押しても、モード切替画面に入ることはできません。
  - リモコン LCD 画面がある場合、操作可能な画面です。

▪ モードにともなう本体 ‘MODE’LED 状態

• 'MODE' LEDの状態によって、機器の動作状態が簡単にわかります。
• Digital Audio モードでは青色、FM Radio モードでは緑色、Recorder モードでは橙色で表示されます。
• 停止、一時停止、録音待機などの本体が動作していない時は‘MODE ’LEDが1秒間隔で点滅します。
• 点滅の場合、Auto Off 設定によって一定時間が過ぎてもユーザが入力しなかった場合は、自動で電源がオフになります。

5. メニューの基本操作

例 : JetEffectの EQを NOR(Normal)から ROC(Rock)に変える場合の操作のしかた



▪ メニュー画面を開くには

- メニュー画面に入るためには、MENUボタンを長く押してください。
- 各種の設定項目を選択できるメニュー画面が表示されます。

▪ メニュー項目の移動

- メニューの項目の上下移動は VOL −、VOL ＋ボタンを押します。
- 下位メニューに入るには、FFボタンまたは MENUボタンを押します。
- 上位メニューに移動するには、REWボタンを押します。(最上位メニュー画面の場合、メニュー画面が閉じ、元のモード画面になります。)
- 設定完了後、元のモード画面に戻るには、PLAYボタンを押します。

▪ メニュー項目の値の調節

- 最下位項目の場合、その項目の設定画面に進入します。
- VOL −、VOL ＋ボタンで希望する値に調節します。
- 項目を選択したい場合は、MENUボタンを押します。
- 調節された値はすぐに反映されます。
- 設定完了後、 元のモード画面に戻るには、PLAYボタンを押します。

▪ メニュー項目設定のキャンセル、メニュー画面を閉じるには

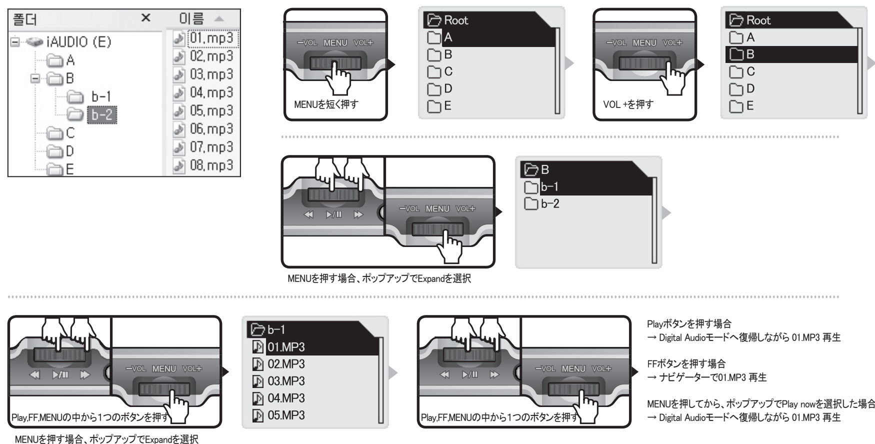
- RECボタンを押すと、現在設定してあった項目の値を以前の状態に戻して、メニュー画面を閉じます。
- PLAYボタンを押すと、現在の設定状態でメニュー 作業を完了してメニュー画面を閉じます。
  - 本体には Menuボタンはありません。したがって本体ボタンでメニュー 画面に入れません。
  - メニュー操作はリモコン LCD 画面がある時のみ、操作可能な画面です。

▪ イコライザー(Equalizer)メニュー項目設定

- イコライザーメニュー項目に入ります 。
- VOL −、VOL ＋ボタンでプリセットされたイコライザーを選択できます。
  (Normal、Rock、Jazz、Classic、Pop、Voice、Usr)
- FFボタンを押して選択されたイコライザーの各バンドを選択できます。
- 選択されたバンドで VOL −、VOL ＋ボタンを押して、バンドの dB レベルを調節してください。(0~12 dB)
- REWボタンを押して上位メニューに出たり、PLAYボタンを押してイコライザー設定を完了します。

6. ナビゲーターの基本操作

例：iAUDIO内のフォルダ構造が下のような場合、b-2フォルダ 01. MP3ファイルを選択して再生する場合のナビゲーター操作のしかた



MENUを押す場合、ポップアップでExpandを選択

■ ナビゲーター画面を開くには

- ナビゲーター画面に入るには、Menuボタンを短く押してください。
- Digital Audio、Voice Recorder、Line-in Recorderモードの場合、ハードディスク内のフォルダ/ファイルを検索するためのナビゲーターが開きます。
- FM Radio モードでは、周波数Preset値を検索して設定するためのナビゲーターが開きます。

■ ナビゲーター項目の移動

- ナビゲーター項目の上下 移動は VOL －、VOL ＋ボタンを押します。
- 下位フォルダへの移動はPLAY またはFFボタンを押します。
- 上位フォルダへの移動はREWボタンを押します。(Rootフォルダの場合、ナビゲーターが閉じて、元のモード画面に戻ります。)

■ ナビゲーター項目の選択

- 選択されたファイル項目に対してPLAY または FFボタンを押すと、そのファイルを再生します。
- 選択されたフォルダ項目に対してPLAY または FFボタンを押すと、そのフォルダに入ります。

■ ナビゲーターポップアップウィンドウ

- MENUボタンを押すと、フォルダ、ファイル、Dynamic PlayList ファイル、FM Radioモードにしたがって適切なポップアップウィンドウが開きます。
- VOL －、VOL ＋ボタンを押して、お好みのポップアップ項目を選択します。
- PLAY または FFボタンを押してポップアップ項目を選択します。
- RECボタンを押すと、ポップアップウィンドウをキャンセルしてポップアップウィンドウを閉じます。
- ファイルに対するポップアップ項目 - Play Now、Add to List
- フォルダに対するポップアップ項目 - Expand、Play Now、Add to List
- Dynamic Playlist ファイルに対するポップアップ項目 - Delete、Delete all
- FM Radioモードナビゲーターでのポップアップ項目 - Listen Ch、Save Current、Delete Ch



■ ナビゲーターを閉じるには

- RECボタンを押すと、ナビゲーター画面を閉じて元の画面へ戻ります。
  - 本体にはMenuボタンはありません。本体ボタンではナビゲーター画面に入れません。
  - ナビゲーターはリモコンLCD画面がある時のみ、操作可能な画面です。

Digital Audio モード（音楽ファイルを聴くには）

1. 再生するには

- PLAYボタンを長く押し続けると、iAUDIO ロゴが表示されながら電源がオンになります。
- もし他のモードで Digital Audio モードに移動して音楽を聴きたい場合は、Modeボタンを押してモード切替画面に入ってから、Digital Audio 項目を選択します。
- AutoPlay 設定が On に設定されている場合、電源がオンになると同時に再生がスタートします。
  Off の場合、停止状態で待機します。
  この場合には PLAYボタンを押して再生してください。
- Resume 機能を設定されている場合、最後に再生した位置から再生されます。
- 再生状態で PLAYボタンを短く押すと、再生が一時停止になります。もう一度押すと、ふたたび再生します。
- Auto OffやSleep機能を設定しておくと、状況によって自動で電源がオフになります。

2. ボリュームを調節するには

- 再生状態でボリュームを調節したい場合、VOL ＋または VOL-ボタンを押します。
- 短く押すと、1 段階ずつ調節され、長く押していると速い速度で調節されます。
- ボリュームは 0(mute)～40まで調節できます。

3. 区間リピートを設定するには: A↔B

- Digital Audio モードでトラック再生中 REC(A↔B)ボタンを利用します。
- 区間リピートをお好みの開始部分にキーを押すと、LCD 上段中間部分に (A↔)アイコンが表示されます。そしてリピート区間終了時点にボタンをもう一度押すと、(A↔B)マークのアイコンに変わります。
- 区間が指定されると、その区間だけリピートして再生します。
- この区間をキャンセルしたい場合は、RECボタンをもう一度押します。
- 区間リピート設定は最低3秒以上の区間でのみ適用することができます。

4. 再生画面で曲を検索

▪ 再生途中に曲を検索

- 再生途中、FF、REWボタンを短く押して、前の曲、次の曲にスキップすることができます。
  - メモリータイプのプレーヤーとは異なり、ハードディスクタイプのプレーヤーは該当の曲を再生するために、時々オフになっているハードディスクの電源をオンにして曲の情報を読み込むために、多少遅延することもあります。この時は画面に Waitポップアップウィンドウが開き、しばらく2～3秒してから再生がスタートします。
  - ハードディスク動作の可否を表示するLCD 上段のハードディスクアイコンと本体に'HDD LED'があるので、ハードディスク動作の可否を簡単にわかることができます。

▪ 停止または一時停止状態で曲の検索

- 停止または一時停止状態でも、FF、REWボタンを押すと、前の曲、次の曲にスキップすることができます。
- 停止または一時停止状態でスキップしても再生中とは異なり、スキップ後も停止した状態です。
- FF、REWボタンを長く押す場合、連続で前の曲、次の曲にスキップすることができます。
  - 停止状態ではハードディスクをアクセスする必要がないので、早く前の曲、次の曲を検索することができます。

5. Dynamic Play-List（以下 DPL)とは?

- Rootの下に "D-PLAYLIST" (ハードディスク上には見えない)という特殊フォルダが存在するが、ユーザーの希望する曲のリンクを集めたフォルダです。
- 使用中、お好みの曲のリンクを追加/削除することができ、ナビゲーター上で"D-PLAYLIST "フォルダに入り、リンクを選択する場合、DPLに集めた曲だけを聴くことができます。

■ DPLに曲を追加
- ナビゲーター上でお好みの曲のポップアップさせて"Add To Playlist"を選択すると、その曲を DPLに追加します。
- ナビゲーター上でお好みのフォルダのポップアップさせて"Add To Playlist"を選択すると、そのフォルダの中の曲を DPLに追加します。
- PlayMode設定でDPL以外の Boundaryで再生している中、RECキーを長く押すと、現在聴いている曲を DPLに追加します。

■ DPLより曲を削除
- ナビゲーター上で "D-PLAYLIST"フォルダで削除したい曲のポップアップさせて、"Delete"を選択すると、そのリンクを削除します。
- ナビゲーター上で "D-PLAYLIST"フォルダで曲のいずれかをポップアップさせて、"Delete All"を 選択すると、全体のリンクを削除します。
- DPL 再生途中に、RECキーを長く押すと、現在聴いている曲のリンクを削除します。
  - "D-PLAYLIST"フォルダ内のリンクを選択すると、そのリンクを再生すると同時に、Boundaryが DPLに自動設定されます。
  - DPL Boundaryで 現在聴いているリンクを削除する場合、自動で次のリンクに再生され、もし最後のリンクを削除してこれ以上再生するリンクがない場合や、全体のリンクを削除した場合にはそのまま現在の曲が再生されながら、DPL Boundaryがキャンセルになって Menu に設定されている Boundaryに戻ります。
    (例:メニュー設定が Dirにされている場合、現在再生されている曲を基準に Dir Boundary に戻る)
  - USBモードに入ると、DPLが自動削除されます。

6. M3U Play-List

Rootの下に"PLAYLIST"というフォルダがあり、このフォルダに保存されたm3uファイルはそのファイル内の再生リストの通りに再生することができます。

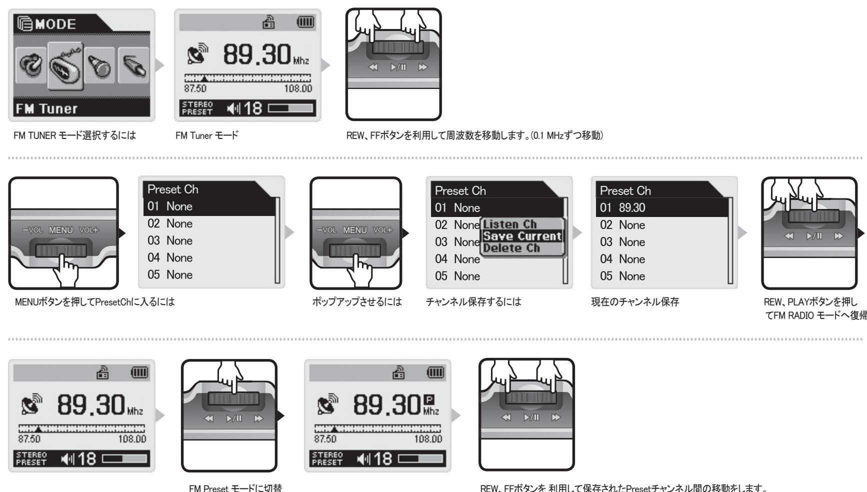
■ m3u ファイルを追加
- iAUDIOをパソコンとUSBケーブルに接続して、リムーバブルディスクとして認識させます。
- ジェットオーディオ等のソフトウェアでiAUDIOハードディスク内の曲を対象に m3u ファイルを作成します。
- Rootの下の"PLAYLIST"フォルダに作成した m3uファイルを保存してください。
- USB接続を取り外して、iAUDIOをオンにしてからナビゲーターで"PLAYLIST"フォルダに保存された m3u ファイルを再生することができます。
  - M3U リンクを選択すると、再生と同時にBoundaryが M3Uに自動設定されます。

■ m3u ファイルを削除
- iAUDIOをパソコンと USBケーブルに接続して、リムーバブルディスクとして認識させます。
- Rootの下の"PLAYLIST"フォルダより削除したい m3u ファイルを削除します。

7. DPL,M3Uと Boundary

- Menu で設定できる Boundaryは All、Single、Dir、SubDir の 4 つです。
- メニューでは 4 つのうち 1 つを選択しますが、これら以外にDPL、M3U Boundaryがあります。
- "D-PLAYLIST"フォルダに入ってリンクを再生すると、自動でDPL Boundaryに設定されて、DPLにあるリストだけを再生します。
- "PLAYLIST"フォルダに入ってm3uファイルを再生すると、自動でM3U Boundaryに設定されて、選択したm3uファイルのリストだけを再生します。
- 仮に、ナビゲーターで一般フォルダの曲を選択すると、自動で DPL または M3U Boundaryがキャンセルされて Menu に 設定されている Boundary に戻ります。

FM Radio モード (FM ラジオを聴くには) 



1. FM ラジオ聴くには

- PLAYボタンを長く押し続けると、iAUDIO ロゴが表示されながら電源がオンになります。
- オフにする前にラジオを聴いていた場合、すぐに FM Radio モードでスタートして、ラジオを聴くことができます。
- もし他のモードで FM Radio モードに移動してラジオを聴きたい場合は、Modeボタンを押してモード切替画面に入ってから FM Radio 項目を選択します。

2. 選局

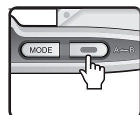
- FM 放送が出力される状態で FF/REWボタンを押すと、0.1 Mhz(または 0.05 KHz)ずつ移動します。
- FF、REWボタンを1秒以上長く押し続けると、最も近い周波数帯域より受信率が良好なチャンネルを自動検索します。
- ラジオを視聴中、PLAYボタンを短く押すと、あらかじめ保存したチャンネルを選択できるプリセットモードに切り替わります。
  FF/REWボタンを押して、プリセットチャンネルを前後に切り替えることができます。

3. Preset 設定

- MENUボタンを短く押すと、プリセットチャンネルの設定を編集できる FM Radio ナビゲーター画面を開くことができます。
- ナビゲーターでプリセット番地を選択してから MENUボタンを押して開くポップアップウィンドウでプリセット設定を編集してください。
  - Listen Ch : 選択した周波数チャンネルを視聴する機能です。
  - Save Current : 現在の周波数をプリセットに指定(追加)する機能です。
  - Delete Ch : 現在のプリセットを削除する機能です。
- プリセットは24個まで保存することができます。

4. FM 放送の録音

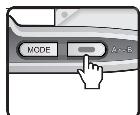
- FMラジオを聴いている最中にその放送をすぐに録音したい場合、RECボタンを長く押します。
- あらかじめ設定された録音品質により、録音されるファイルは 『RECORD 』フォルダの下に ENC***.MP3 というファイルで保存されます。 (***3桁の通し番号)
- 録音中、Playボタンを押すと、録音が一時停止して、もう一度押すと録音が継続されます。
- 録音を完了したい場合、RECボタンをもう一度押してください。
  保存中、Wait メッセージが表示され、保存が完了すると、ラジオ画面へ戻ります。
  - 録音品質を設定するメニューはマニュアル関連ページを参考にしてください。
  - 一回に録音できる最大容量は 512MB です。もし、この容量を超過して引き続き録音を進行したい場合、自動で 512MBを記録してから、もう一度録音をスタートします。 (1 つのファイル当たりの録音時間: 320kbps 基準約 218分)
  - ハードディスクに使用できる空間が 128MB 未満の場合、録音がスタートせず、録音途中にも 128MB 未満になる場合、録音が自動終了されます。



RECボタンを長く押します。

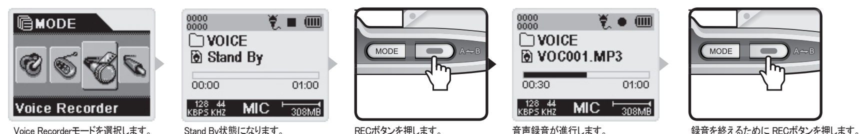


FM 録音が進行します。



録音を終了するために、RECボタンを押します。

Voice Recorder (内蔵 MICで音声録音するには)



Voice Recorderモードを選択します。 Stand By状態になります。 RECボタンを押します。 音声録音が進行します。 録音を終えるために RECボタンを押します。

1. 音声録音準備

- 電源をオンにしてから、MODEボタンを押して Voice Recorderを選択します。
- モードに入ってから録音待機(StandBy)状態になっています。

2. 音声録音開始、一時停止、終了

- 録音待機(StandBy)状態でRECボタンを押すと、録音がスタートします。
- 録音中、PLAYボタンを押すと録音が一時停止になり、もう一度押すと、引き続き録音を再開します。
- 録音を終了したい場合、RECボタンをもう一度押してください。
  保存している間、Wait メッセージが表示され、保存が完了すると、録音待機状態に戻ります。
- 録音されるファイルは、あらかじめ設定された録音品質により 『VOICE』フォルダの下に VOC***.MP3 というファイルで保存されます。 (***3桁の通し番号)
- 録音中には電源をオフにしたり、メニュー、ナビゲーター、モード切替したりする作業はできません。

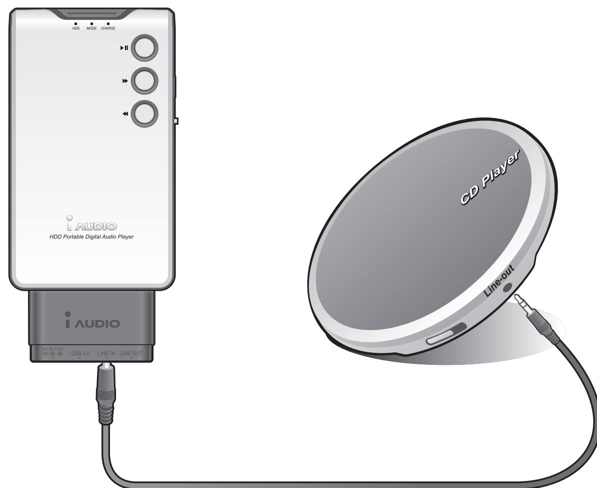
3. 音声録音ファイルの再生

- 最後に録音されたファイルを再生したい場合、録音待機(StandBy)状態で PLAYボタンを押してください。
- または録音待機状態で MENUボタンを短く押して、ナビゲーターモードに入ってから、お好みのファイルを選択して再生することができます。 また、Digital Audio モードに移動して再生することができます。
- ファイルの再生中には、Digital Audio モードでの操作法と同じです。
- １つのファイルが全て再生された後には、自動で録音待機(StandBy)状態に戻ります。
- 再生中に任意で停止したい場合、RECボタンを押してください。再生が停止して、また録音待機(StandBy)状態に戻ります。

4. 録音品質及び容量

- 録音ボリュームと品質を設定するメニューは、マニュアル関連ページを参考にしてください。
- 一回に録音できる最大容量は 512MB です。もし、この容量を超過して引き続き録音を進行する場合、自動で 512MBを記録してから、もう一度録音をスタートします。 (1 つのファイル当たりの録音時間: 128kbps 基準 546分)
- ハードディスクに使用できる空間が 128MB 未満の場合、録音がスタートせず、録音の途中にも 128MB未満になる場合、録音が自動終了します。

Line-in Recorder (ダイレクトインコーディング)



1. Line-in 録音の準備

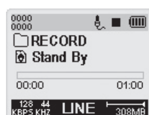
- 電源をオンにしてから、MODEボタンを押して Line-in Recorderを選択します。
- モードに入ってから、録音待機(StandBy)状態になっています。
- CDPの ヘッドホン端子と iAUDIOの Line-in 端子を両方向ステレオジャックケーブルで双方接続します。

2. Line-in 録音スタート、一時停止、終了

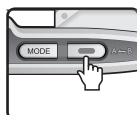
- 録音待機(StandBy)状態で RECボタンを押すと、録音がスタートします。
  録音がスタートすると同時に、CDPを再生してください。
- 録音中に Playボタンを押すと録音が一時停止になり、もう一度押すと録音を続けます。
- 録音を完了したい場合、RECボタンをもう一度押してください。
  保存中、Wait メッセージが表示され、保存が完了するともう一度録音待機状態になります。
- 録音されるファイルは、あらかじめ設定された録音品質により 『RECORD』フォルダの下に ENC***.MP3 というファイルで保存されます。 (***一連の3桁の 数字)
- 録音中には電源をオフにしたり、メニュー、ナビゲーター、モード切替したりする作業はできません。



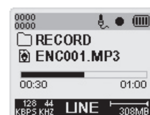
Voice Recorderモードを選択します。



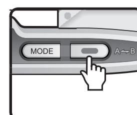
Stand By状態になります。



RECボタンを押します。



音声録音が進行します。



録音を終了するために RECボタンを押します。

3. Line-in 録音ファイルの再生

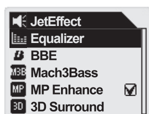
- 最後に録音されたファイルを再生したい場合、録音待機(StandBy)状態で PLAYボタンを押してください。
- または、録音待機状態で MENUボタンを短く押してナビゲーターモードに入ってから、お好みのファイルを選択して再生することができます。また、Digital Audio モードに移動して再生することができます。
- ファイルの再生中には、Digital Audio モードでの操作法と同じです。
- １つのファイルが全て再生された後には、自動で録音待機(StandBy)状態に戻ります。
- 再生中に任意で停止したい場合、RECボタンを押してください。再生が停止して、また録音待機(StandBy)状態に戻ります。

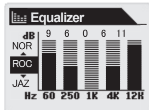
4. 録音品質及び容量

- 録音ボリュームと品質を設定するメニューは、マニュアル関連 ページを参考にしてください。
- 一回に録音できる最大容量は 512MB です。もし、この容量を超過して引き続き録音を進行する場合、自動で 512MBを記録してから、また録音をスタートします。 (1 つのファイル当たりの録音時間: 320kbps 基準 約 218分)
- ハードディスクに使用できる空間が 128MB 未満の場合、録音がスタートせず、録音途中にも 128MB 未満になる場合、 録音が自動で終了します。

JetEffect

1. Equalizer



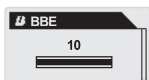


Equalizer(EQ)とは、ユーザーの趣向に合うように選択された周波数帯域(Band)の音声を大きくしたり、小さくしたりすることができる機能です。
音楽ジャンルに合うようにあらかじめ定義された　Normal、Rock、Jazz、Classic、Pop、Vocal EQと User EQの7つの中から１つを選択できます。
これらの EQは、各 Band 別にユーザーが直接調節することもできます。

バンド移動 : FF, REW

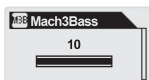
バンドレベル : VOL +, VOL −

2. BBE ：



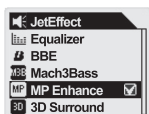
BBEとは、音楽を鮮明にする音場効果です。
Off、1～10段階で調節できます。

3. Mach3Bass ：



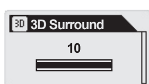
Mach3Bassは、低帯域を強調するベース増幅効果です。
Off、1～10段階で調節できます。

4. MP Enhance ：



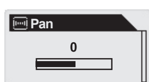
MP Enhanceは、損失した音の部分を補う音場効果です。
この機能を適用したい場合は On、適用したくない場合は Offを選択してください。

5. 3D Surround :



3D Surroundは、3D立体音響効果を提供します。
Off、1～10段階で調節できます。

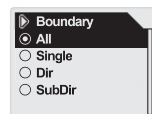
6. Pan（左右バランス）



Panは 左右の音量のバランスを調節する機能です。
左右、同じ音量は 0、左側から右側へ、－20から ＋20まで調節できます。

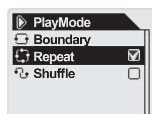
Play Mode

1. Boundary (再生範囲 設定する) : All. Single, Dir, SubDir



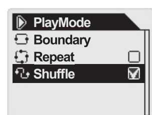
多様な再生範囲を設定するメニューです。
Allは　全体曲、Singleは 1 曲、Dirはフォルダの下の曲、SubDirはフォルダの下と下位フォルダまで含んだ曲を再生範囲で設定します。
RECORD、VOICE フォルダ下の録音されたファイルは除外になります。

2. Repeat (リピート再生を設定するには)



再生したい範囲の中からリピート再生するかどうかを設定します。
再生範囲をリピートして聴くには、この項目にチェックしてください。
チェックを解除すると、再生範囲の曲をすべて再生し終わってから停止状態で待機します。

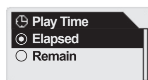
3. Shuffle (任意再生を設定するには)



再生したい範囲の中から任意再生をするかどうかを設定します。
再生範囲の中から再生順序を任意で行いたい場合は、この項目にチェックしてください。
チェックをキャンセルすると、また元の順序で再生します。

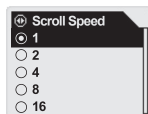
Display

1. Play Time (再生時間)



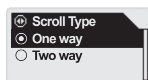
- 再生するトラックの時間情報を表示する方式を設定できるメニューです。
- Elapse : 再生中、経過した再生時間を表示します。
- Remain : 再生中、再生残時間を表示します。

2. Scroll Speed (画面速度)



- LCDに文字がスクロールされる速度を調節することができるメニューです。
- 1、2、4、8、16 倍速で設定できます。

3. Scroll Type (曲名アニメーション効果)



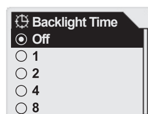
- LCDに文字がスクロールされる方式を設定できるメニューです。
- One way : 左側の一方向で文字がスクロールされます。
- Two way : 左右に文字が折り返しスクロールされます。

4. Song Title (曲名表示)



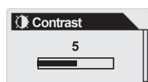
- 曲目を表示する方式を設定するメニューです。
- ID3 Tag : ID3 タグの情報を表示します。ID3 タグ情報がない場合、ファイル名で表示します。
- FileName : ファイル名をそのまま表示します。

5. Backlight Time



- LCD 背景の照明が点灯している時間を設定できるメニューです。
- off、1、2、4、8 sec、Always に設定できます。

6. Contrast (画面の明るさ)



- LCD画面の明るさを調節するメニューです。
- 1～10まで設定することができます。

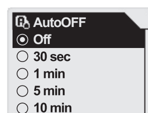
7. Language (言語)



- 表示される言語を選択できるメニューです。
- 使用言語圏と異なった設定の場合、曲の情報が正常に表示されない場合があります。
- Chinese(Simp)、Chinese(Trad)、English、Hangul(Korean)、Japanese、Russianの中から実際の使用言語圏を選択してください。

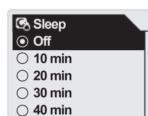
Timer

1. Auto Off



- 機器が停止している状態で、設定した時間分ボタン操作をしない場合、自動で電源オフになる機能です。
- Off、30sec、1、5、10、30、60 min の中から選択できます。

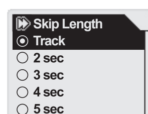
2. Sleep



- 機器が設定した時間が経過した後、自動でオフになる機能です。
- Off、10、20、30、40、50、60、90、120 min の中から選択できます。

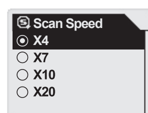
General

1. Skip Length (スキップの長さ)



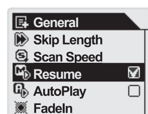
- FF/REWボタンを一度押した時、スキップする時間を設定する機能です。
- Track /2 /3 /4 /5 /10 /15 /20 /30 sec の中から選択できます。

2. Scan Speed (スキャン速度)



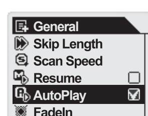
- FF/REWボタンを長く押すと、速く先送り/速く後戻りの速度を設定する機能です。
- x4 /x7 /x10 /x20 倍速で選択できます。

3. Resume (リジューム機能)



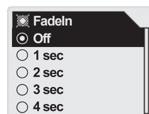
- 最後に再生した位置(トラック)を記憶する機能です。
- On/Offの中から選択できます。

4. Auto Play (自動再生)



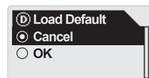
- 電源をオンにした際、自動で再生がスタートする機能です。
- On/Offの中から選択できます。

5. Fade in(フェードイン)



- 停止または一時停止後、再生開始時にボリュームが徐々に大きくなる機能です。
- ボリュームが大きくなる時間を設定できます。
- Off、1、2、3、4、5 sec の中から選択できます。

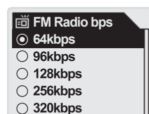
6. Load Default



- 機器の全設定情報を工場出荷時の設定値に戻します。(フォーマットはしません)
- 適用したい場合は OKを選択してください。

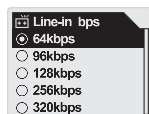
 Recording

1. FM Radio bps (FM チューナー)



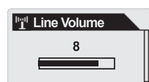
- FM Radioを録音する時、MP3 ファイルの品質を設定するメニューです。
- 64、96、128、256、320 kbps の中から選択できます。数値が高いほど高品質です。

2. Line-in bps (ラインイン)



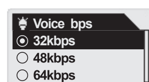
- Line-in Recorderで録音する MP3 ファイルの品質を設定するメニューです。
- 64、96、128、256、320 kbps の中から選択できます。数値が高いほど高品質です。

3. Line Volume



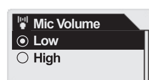
- ダイレクトインコーディング端子で入ってくるボリュームレベルを調節します。
- 1~10 までの値が提供されていて、数値が高いほど音が増幅します。

4. Voice bps (内部マイク)



- Voice Recorderで録音する MP3 ファイルの品質を設定するメニューです。
- 32、48、64、96、128 kbps の中から選択できます。数値が高いほど高品質です。

5. Mic Volume



- 内部マイクで入ってくるボリュームレベルを調節します。
- Low、High の中から選択できます。High の場合、過度に高い音量が録音されると、録音品質が悪くなることもあります。



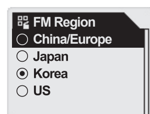
FM Radio

1. Stereo (ステレオ)



- FM ラジオの視聴時、ステレオ及びモノを選択するメニューです。
- Stereo/Mono の中から選択できます。

2. FM Region (視聴地域設定)



- 視聴地域(国)を選択するメニューです。
- China /Europe /Japan /Korea /Russia /US 中から選択できます。



Information

- Version (ファームウエアバージョン): 現在 iAUDIOに搭載されているファームウエアバージョンを表示します。
- HDD Tot : ハードディスク全体の容量を表示します。
- HDD Free : ハードディスクの残容量を表示します。
- Dirs : システムディレクトリ以外のディレクトリ総数です。
- Songs : 録音ファイル以外の音楽ファイル総数です。

用語説明

BBE
音楽を鮮明にする優れた解像度の高鮮明音場効果です。

Mach3Bass
超低域を強調する精巧なベースブースターで、より豊かで密度感のある低音を聴かせます。

MP Enhance
損失した音の領域帯を補い、原音のように復旧する音場効果です。

3D Surround
3D空間感を生かす立体音響です。

Boundary
再生する領域を意味します。
１曲、全曲、フォルダ、サブフォルダで領域を設定できます。

Contrast
LCD画面の明るさを調整する機能です。

Resume
最後の再生地点を記憶する機能です。

Fadein
トラックを再生する時、低いボリュームから設定したボリュームまで徐々に音が大きくなる機能です。

DPL
Dynamic Play-Listの略字で、再生中ユーザーが直接再生リストを編集して聴くことができる機能です。

症状	措置	説明
電源がオンになりません	HOLDボタンがかかっているかどうかを確認します。ホールドボタンをOFFに解除してから、利用してください。	HOLDボタンがかかっている状態では、機器は作動しません。
	ACアダプターを接続しても同じ現状が発生するかどうかを確認してください。	内蔵バッテリーが完全放電になった場合、ACアダプターを使用して充電してください。
なんの音も聴こえなかったり、雑音が発生したりします。	機器のメモリーに MP3 ファイルが保存されているのかどうかを確認してください。	機器の中に保存されたMP3ファイルがない場合、動作しません。
	ボリュームが "0" になっていないか確認してください。 リモコン/イヤホンがしっかり接続されていないか、または端子に異物が付着していないかどうかを確認してください。(異物が付着している場合、雑音が発生します。) また、Audio 内のファイルのデータが損傷していれば、雑音が出たり、音切れしたりします。	
FMラジオが聴けません。	建物の内部または地下鉄の全区間、移動中の自動車の中のようにユーザーの位置によって FM 受信感度が低下して、放送受信状態が一定でないことがあります。また電波の影になる地域では聴こえないことがあります。	
	利用者が確認できるあらゆる地域で FM ラジオが動作しない場合、受信モジュールに問題がある場合がありますので、この場合はサポートセンターへ点検を依頼してください。	
LCDに 文字が化けて表示されます。	機器のメニューの言語設定メニューで、Japaneseで再設定、ID3 タグ調節メニューで File nameで利用してください。 ただ、あらゆる同じ iAUDIO 機器で、同じ症状が発生する現象は、ハングル Windows 基準で開発された機器のため、一部特殊フォント/言語は、文字が化けて表示される場合があります。	
ジェットシェルで認識されず、“iAUDIOはありません”と表示されます。	Windows 98、98 SEの場合には、別途のドライバーをインストールする必要があります。 "Windows 98 USB driverのインストール"を参照してください。	
ハードディスク容量が少なく表示/使用されます。(例: 20GBなのに18GBで表示)	例えば 20GB 製品の場合 FAT32でフォーマット後、18.6GB 程度の容量の場合、正常な製品です。iAUDIO メモリーは、システム領域で使用される部分を共有しています。 したがって、iAUDIOの正常な駆動に必ず必要とするシステム領域を除くと、実際に表示される HDD 容量は多少減る場合があります。	
ルート(Root) フォルダに数百個程度の多量のファイルを保存した後、機器が動作しなかったり、誤動作したりします。	iAUDIOは FAT32を利用します。このような FAT32の制約のため、ルートディレクトリの中にファイルを多く入れるのは控えてください。	Windows 98の場合は制限が特に制限が厳しいです。また2000、XPの場合も別途フォルダを生成して、その下位にフォルダを作成して利用することをお薦めします。

ジェットシェル実行時、ジェットシェルが iAUDIOドライブを制御するために、以下の場合には、必ずジェットシェルを終了して使用してください。

- USBドライブのインストール時
- Windows エクスプローラでフォーマットする場合
- ファームウエアをアップグレードする場合

Digital Audioモード

ボタン	本体	リモコン	動作	停止時	再生時
Play/Pause			●	現在のトラック再生	現在のトラック一時停止
			▬	電源を切る	電源を切る
FF			●	次のトラックに切り換え	次のトラックに移動または5sec、10sec 移動(スキップ設定)
			▬	高速早送り	高速早送り
REW			●	前のトラックに切り換え	前のトラックに移動または5sec、10sec 移動(スキップ設定)
			▬	高速巻き戻し	高速巻き戻し
MENU			●	Navigator	Navigator
			▬	設定メニュー	設定メニュー
MODE				MODE選択	MODE選択
VOL +				ボリューム 増加	ボリューム 増加
VOL −				ボリューム 減少	ボリューム 減少
REC/ A ↔ B			●		Repeat /A ↔B スタート及び終了(区間リピート)
			▬		

キーの動作で●は短く押した場合を意味し、▬は1秒以上長く押した場合を意味します。

FM Radio モード

キー	動作	一般モード	Presetモード時
Play/Pause	●	Presetモードに入る	Presetモードキャンセル
	▬	電源を切る	電源を切る
FF	●	周波数増加	次のPresetに移動
	▬	次のFM放送を自動検索	次のPresetに移動
REW	●	周波数減少	前のPresetに移動
	▬	前のFM放送を自動検索	前のPresetに移動
MENU	●	Presetモード設定	Presetモード設定
	▬	設定メニュー	設定メニュー
MODE		MODE 選択	MODE 選択
VOL +		ボリューム増加	ボリューム増加
VOL −		ボリューム減少	ボリューム減少
REC/A ↔ B	●	録音終了	録音終了
	▬	録音スタート	録音スタート

 Voice Recorder /Line-in Recorderモード

キー	動作	停止時	録音時
Play/Pause	●	前の録音ファイルを再生	一時停止/継続録音
	▬	電源を切る	
FF	●		
	▬		
REW	●		
	▬		
MENU	●	Navigator	
	▬	設定メニュー	
MODE		MODE 選択	
VOL +		ボリューム増加	
VOL −		ボリューム減少	
REC/A ↔ B	● / ▬	録音スタート	録音終了

Navigator

キー	動作	ファイルの選択時	フォルダの選択時
Play/Pause	● / ▬	選択されたファイルの再生後、Digital Audio Player モードに切替	該当フォルダに移動
FF	● / ▬	選択されたファイルを再生して、ナビゲーションモード維持	該当フォルダに移動
REW	●	上位フォルダに移動	上位フォルダに移動
	▬		
MENU	●	ポップアップメニュー	ポップアップメニュー
	▬		
MODE			
VOL +		下へ項目移動	下へ項目移動
VOL −		上へ項目移動	上へ項目移動
REC/A ↔ B	● / ▬		ナビゲーターを閉じる

JetEffect	イコライザー	: Equalizer
	BBE	: BBE
	Mach3Bass	: Mach3Bass
	MP Enhance	: MP Enhance
	3D Surround	: 3D Surround
	バランス調節	: Pan
Play Mode	再生範囲	: Boundary
	リピート再生	: Repeat
	任意再生	: Shuffle
Display	時間表示	: Play Time
	スクロール速度	: Scroll Speed
	スクロール形式	: Scroll Type
	ID3タグ	: Song Title
	照明時間	: Backlight Time
	LCD明るさ	: Contrast
	言語設定	: Language
Timer	自動オフ	: Auto Off
	スリープモード	: Sleep

General	スキップの長さ	: Skip Length
	検索速度	: Scan Speed
	レジューム	: Resume
	自動再生	: Auto Play
	フェードイン	: FadeIn
	バッテリーのタイプ	: Load Default
Recording	FM	: FM Radio bps
	音楽	: Line-in bps
	ライン感度	: Line-in Volume
	マイク	: Voice bps
	マイク感度	: Mic Volume
FM	ステレオ	: Stereo
	バンド地域	: Region
Information	ファームウエアバージョン ハードディスク全体容量 ハードディスクの残容量 ディレクトリ総数（システムディレクトリは除く） 音楽ファイル総数（録音ファイルは除く）	

ジェットシェル (JetShell)とは?

ジェットシェルは、以下のような同じ役割を遂行する iAUDIO用 マネジャープログラムです。

- iAUDIOにファイルを転送 (Download/Upload)する機能 (一部のファイルは除く)
- Windows エクスプローラと同じ構造のファイル管理機能
- MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)再生
- Audio CDから MP3 ファイル抽出 (リッピング)機能
- WAV /MP3 /WMA間の相互変換機能(但しWMAへの変換、WMAからWAVへの変換には非対応)
- MP3 Bit rate 変換機能
- 転送リスト(Download List)による便利なファイル転送
- 多様なスペクトラム、イコライザー、エフェクトをサポート
- CDDB、ID3 タグ編集機能
- iAUDIO ロゴ転送機能
- メモリーフォーマット機能

ジェットシェルの使用環境

- Pentium II 233 MHz相当以上のCPU
- 64MB以上のシステムメモリ(または使用OSが推奨するシステムメモリ)
- ハードディスクの最低20MBの空き容量
- 256 Color 以上のグラフィックカード
- Windows 98 SE/ME/2000/XP (NTは不可)
- USBポート 1.1 規格以上
- CD-ROM
- サウンドカード、スピーカーまたはヘッドホン

iAUDIO 接続とジェットシェルのインストール

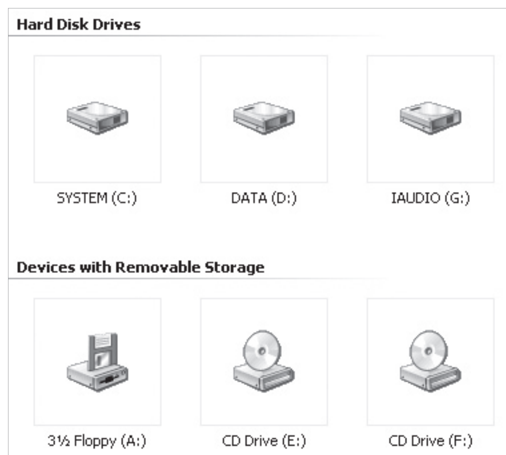
ジェットシェルのインストール

1. iAUDIO インストールCDを CD-ROM ドライブにセットすると、インストールプログラムが自動で実行されます。
   使用されるパソコンのWindowsの状態によっては自動で実行されない場合があります。
   この 場合は CD-ROM:\setup.exe または CD-ROM:\JetShell \setup.exe を実行してください。
2. インストールが完了すると、スタートプログラム →COWON →iAUDIO M3 →JetShellが登録されます。

iAUDIOの接続

Windows ME /2000 /XP

1. USBケーブルを利用してiAUDIOのUSBポートとパソコンの USBポートを双方接続します。
   (iAUDIOは USBハブを利用せずに、PCのメインボード上のUSBポートに直接接続することを基準とします)
2. 正常にインストールが完了したかを確認するためには、下記のように (XP Home Editionの場合)
   ‘マイコンピュータ’の中の新しいローカルディスクが認識(追加)されたことを確認してください。



Windows98SE の場合

1. 以降図で示したE:\ドライブは、このマニュアルを作成する際のパソコン環境です。従って実際のユーザーのパソコンのドライブ名と異なります。ご自身のドライブ番号に置き換えてお読みください。



2. iAUDIOと PCの USB ケーブルを双方接続します。正常なウィンドウ状態の場合、iAUDIO M3 Digital Audio Player 装置を検出したというメッセージと共に左側の画面が出力されます。左側の画面が表示されたら、[Next]ボタンをクリックします。



3. 左側の図のように[Search for the best driver for your device]にチェックを入れて[Next]ボタンをクリックします。



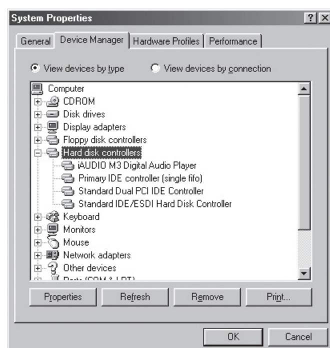
4. 「Specify a location」をチェックしてから[B rowse]ボタンをクリックします。



5. 表示された[Browse]画面でiAUDIOのセットアップCDが入っているドライブの中の[Win98]というフォルダを選択してから[Next]ボタンを押すと[デバイスドライバの更新ウィザード]という画面に「iAUDIO M3 Digital Audio Player」というモデル名が表示されます。次の画面が表示されたら[Next]ボタンをクリックしてください。

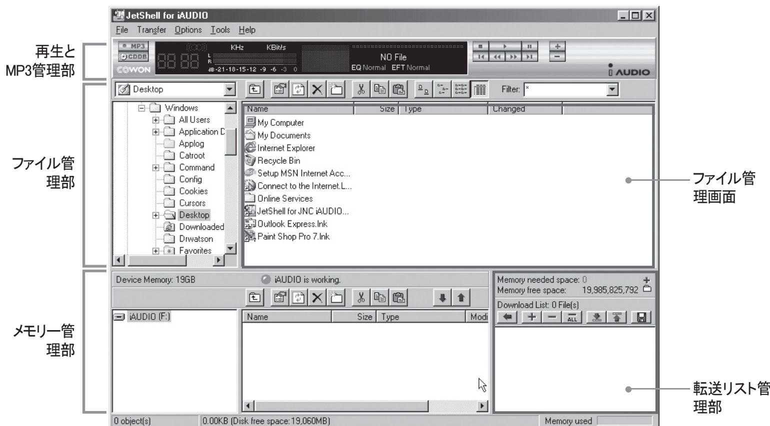


6. セットアップCDの中で必要なドライバファイルをコピーしてインストールする順序が進行したら、次の図のように完了画面が表示されます。[Finish]ボタンをクリックして完了してください。



7. 正常にiAUDIO M3インストールが完了したかを最終確認する画面です。コントロールパネル → システム → デバイスマネージャ → ハードディスクコントローラの下位デバイス → 「iAUDIO M3 Digital Audio Player」というデバイスが表示されていれば正常です。

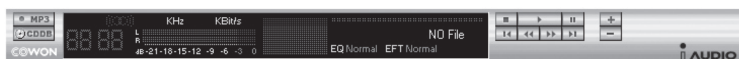
全体の構成



ジェットシェル実行時、ジェットシェルがiAUDIOドライブを制御するために、次の場合は必ずジェットシェルを終了して使用しなければなりません。

- USBドライブのインストール時
- Windowsエクスプローラーでフォーマットする場合
- ファームウェアをアップグレードする場合

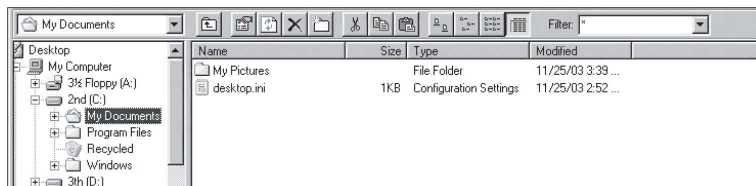
MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生



ファイル管理画面でMP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)をダブルクリックするか、上の図のような再生機にドラッグ＆ドロップをすると、すぐに該当ファイルの再生がスタートします。またファイルを多数選択してからPlay(プレイ)ボタンを押しても大丈夫です。中央の黒い画面によって指定されたトラックの進行過程や曲名が左の方向に動きながら2つの種類のスペクトラム画面が表示されます。

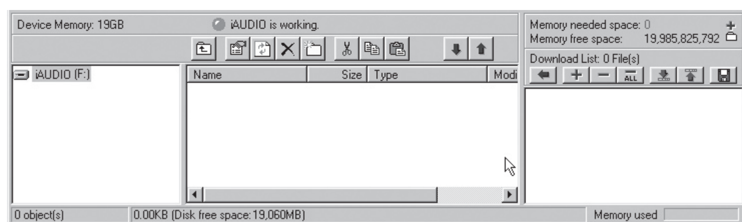
右側にある各ボタンによってファイル再生をスタート/停止させることができ、＋と－ボタンを利用するとボリューム調節をすることができます。ポジションバーをクリックして再生されているトラックの特定地点まで瞬時に移動することもできます」。

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生



ジェットシェルのファイル管理部は、Windowsエクスプローラとほとんど同じです。左画面はツリー構造で、フォルダとデスク、CD-ROMを表示します。右側には該当するフォルダ内の詳しいファイルリストを表示します。

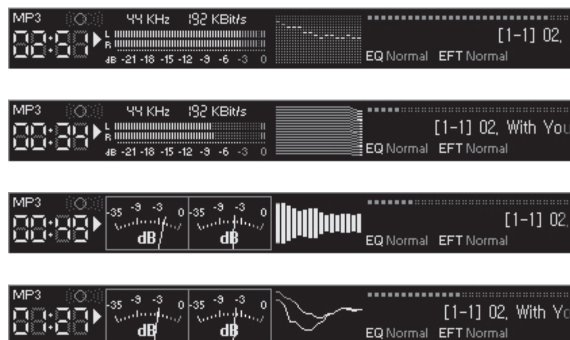
メモリー管理



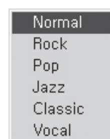
ジェットシェルの下段部はiAUDIOのメモリー管理部+転送リスト部分です。
IAUDIOが正常に認識されていれば、図のように赤色の「iAUDIO is working」というランプとメッセージが表示されます。ユーザーがパソコンからiAUDIOに転送した各種ファイルは中央の窓に表示されます。右の最下段部の端に表示されている使用メモリーは、iAUDIO全体のメモリーのうち使用されている量を意味します。例えば上の画面のように一杯になっているとiAUDIO内には使用できる容量がほとんどないことを意味します。

ボタン	機能	説明
	上位に	上位フォルダに移動します。
	プロパティ	該当ファイルのプロパティを確認します。
	新規更新	メモリーの内容を新しく読み込んで表示します。
	削除	指定したファイル又はフォルダを削除します。
	新しいフォルダ作成	新しいフォルダを作ります。
	切り取り	指定したファイルやフォルダを切り取ります。
	コピー	指定したファイルまたはフォルダをコピーします。
	貼り付け	切り取り又はコピーしたファイルまたはフォルダを貼り付けます。
	メモリーに転送	指定したファイルまたはフォルダをパソコンからiAUDIOに転送します。
	パソコンに転送	指定したファイル又はフォルダをiAUDIOからパソコンに転送します。

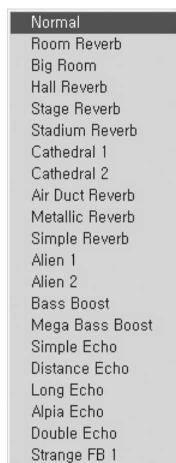
ジェットシェルは視覚的に素晴らしいスペクトラムを表示します。スペクトラムが出る部分をマウスでクリックすると次のように画面が変わるのが確認できます。



また次のような多様なエコライザーとエフェクトをお楽しみいただけます。



様々なEQ



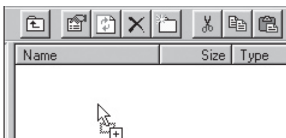
様々なEffect

MP3ファイルをiAUDIOに転送する

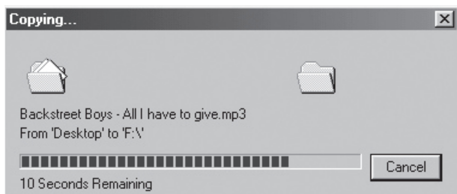
1. 音声ファイルをiAUDIOに転送するのは非常に簡単です。上部のファイル管理部から転送しようとするファイルを選んで、下向きの矢印ボタンを押します。



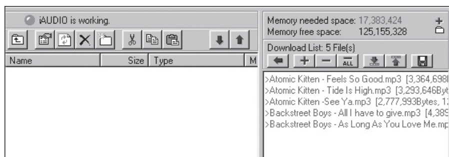
2. またはWindowsエクスプローラを使用するように、上側のファイル管理部から該当するファイルを選択して下側の窓にドラッグ＆ドロップします。



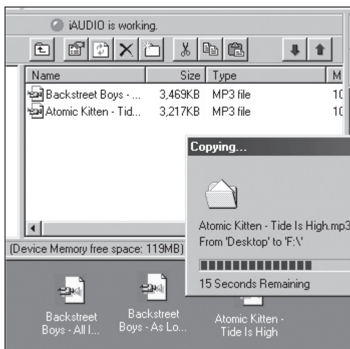
3. 転送中の画面です。転送中にはバックライトがつき、バックライトがついている状態の時には絶対にUSBケーブルを抜かないでください。



4. または次の図のように転送リスト画面にあらかじめ登録しておいてから転送する方法もあります。それぞれ違うフォルダにあるファイルを＋ボタンで登録しておいて、一括転送する時に有用です。



5. ジェットシェルの外部にあるファイルをマウスでドラッグしてメモリーの窓に持っていくことでも転送することができます。



iAUDIO内のファイルを削除するには

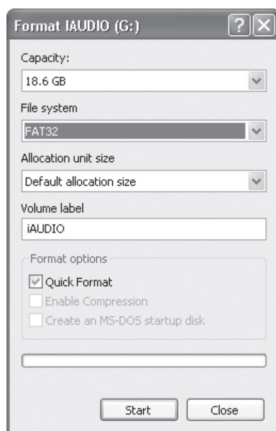
iAUDIO 中に入っているファイルの削除は、Windows エクスプローラでファイルを削除することと同じです。
削除したいファイルを選択してから、✕ ボタンを押すと ‘メモリーから削除’の確認ウィンドウが表示されます。削除したい場合は‘OK’を選択します。

またメモリーウィンドウでファイルを選択した後、マウスの右側のボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示され、ここでも削除することができます。

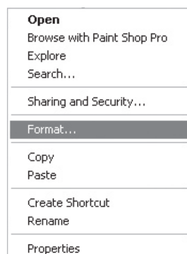
ハードディスクを初期化するには(フォーマット)

ハードディスクをフォーマットするように iAUDIOもフォーマットすることができます。 ただ、フォーマットをする場合、メモリーの中に入っているあらゆる全てのデータが消去されますので、十分ご注意ください。

1. [File - Fomat Device Memory]をクリックすると、下のウィンドウが表示されます。FAT32を選択してフォーマットします。FAT32以外のほかのものを選択してフォーマットした場合、iAUDIOは単純 なUSB保存媒体でのみ認識されて、MP3 Playerとしては正常に動作しません。 必ず FAT32で使用し、Windows 2000 及び XPで支援する NTFS ファイルシステムは絶対に使用しないでください。.



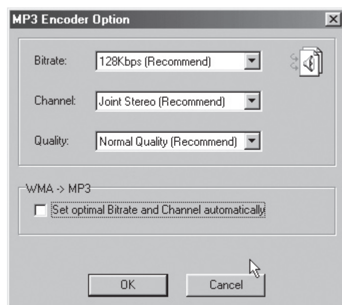
または Windows エクスプローラで iAUDIO ドライブをフォーマットすることもできます。



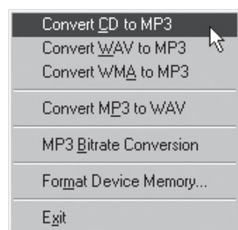
オーディオCDトラックをMP3ファイルに変換と同時にiAUDIOにダイレクト転送

ジェットシェルを利用すると自分のオーディオCDをMP3に簡単に変換して、iAUDIOに転送することができます。
MP3変換時、MAVを経ずにオーディオCDトラックをデジタル方式で直にMP3に保存しますので非常に効率的です。

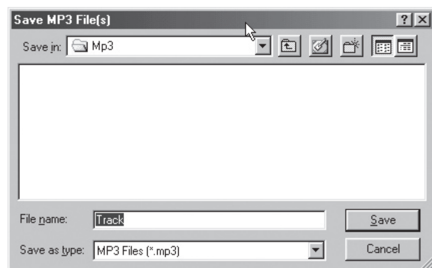
1. 作業する前に生成するMP3ファイルの品質をあらかじめ設定する必要があります。
   [Option – MP3 Encoder Option]メニューをクリックし、希望するMP3ファイルのBitrate等を指定します。(B itrateが高いほど高音質で圧縮されますが、ファイルサイズは大きくなります。)



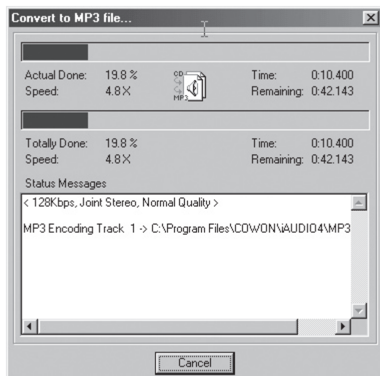
2. ファイル管理部でオーディオCDが入っているCD-ROMドライブを選択してから、右側の窓に表示されているオーディオトラックを選択した後に MP3 をクリックするか、[File – Convert CD to MP3]メニューをクリックします。



3. MP3ファイルの保存先をを指定します。
   この時、iAUDIO(リムーバブルディスク)内の保存するフォルダを指定します。

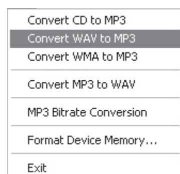


4. MP3変換とiAUDIOにダイレクト転送作業中の画面です。

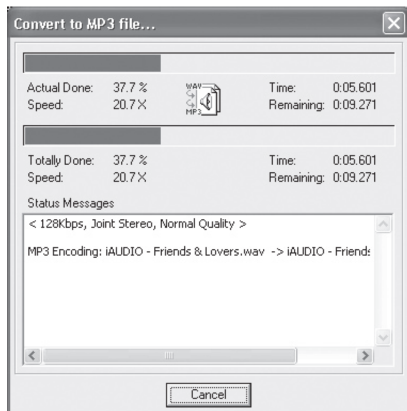


WAV ファイルを MP3 ファイルに変換するには

この機能はパソコン上の WAVファイルをMP3に変換する機能です。
ジェットシェルのファイルメニューで、[File - Convert WAV to MP3]を選択します。

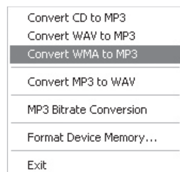


変換ウィンドウが表示されます。

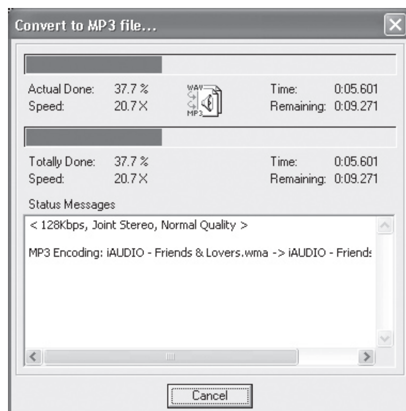


WMA ファイルを MP3 ファイルに変換するには

この機能はパソコン上の WMA ファイルを MP3 ファイルに変換する機能です。
ジェットシェルのファイルメニューで、[File - Convert WMAto MP3]を選択します。

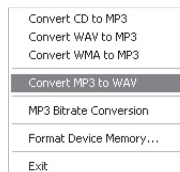


変換ウィンドウが表示されます。

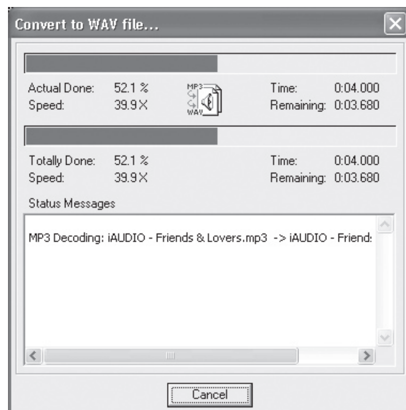


MP3 ファイルを WAVファイルに変換するには

この機能はパソコン上の MP3 ファイルを WAVファイルに変換する機能です。
ジェットシェルのファイルメニューで、[File - Convert MP3 to WAV]を選択します。



変換ウィンドウが表示されます。

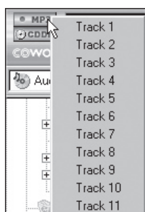


1. Enhanced CDのリフィリング

一部のエンハンスドCDの場合、オーディオCDを選択してもトラックファイルを直接選択することができません。こうした場合は次の図のように、 ボタンで、マウスの右ボタンをクリックして希望するトラックを選択してからMP3ファイルに変換することができます。但し、不法複製防止技術が適用された一部のオーディオCDの場合、上のような方法ではリフィリングされないことがあります。

エンハンスドCD (enhanced CD)とは?

音楽CD内にパソコン用動画やデータが入っているCDです。



マウスの右ボタンをクリックするとトラックが表示されます。

2. CDDB接続機能

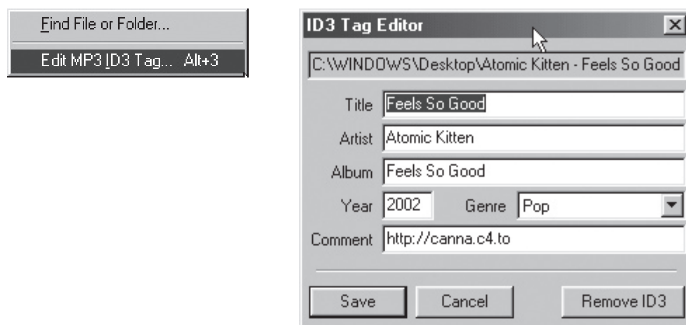
ボタンを押すと、歌手、曲の題名などのCD情報をインターネットを通じて持ってくることができます。CDDBを利用するには、インターネット接続が可能な状態でなければならず、ネットワークの状態やプロキシサーバの状態によって接続されないこともあります。

CDDBから取り込んだCDテキスト情報のうち、正しくないデータを取り込むと、利用者のパソコンで(日本語を含む)文字化けすることがあります。これはジェットシェルのエラーではなく、該当CDDB内に保存されている該当情報のエラーです。



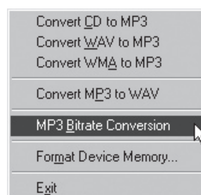
3. ID3 タグ編集機能

ジェットシェルのメニューのうち[Tool – Edit MP3 ID3 Tag]機能を利用すると、希望するMP3ファイルのID3タグ情報を変更することができます。



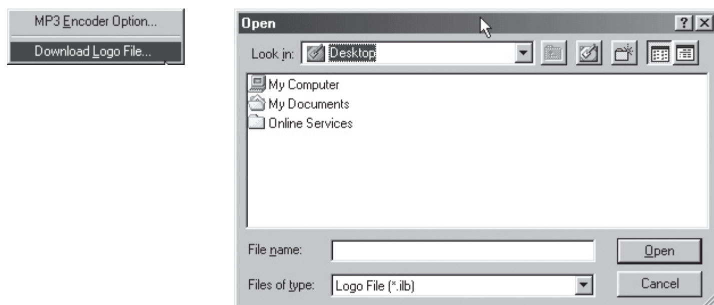
4. MP3ファイルのビットレートを変換する

ジェットシェルのメニューのうち[File – MP3 Bitrate Conversion]を利用すると、選択したMP3ファイルのビットレートを変更することができます。



5. ロゴファイル転送機能

ロゴファイル転送機能は、iAUDIOの電源をつけた時、LCDに表示されるロゴ画面を変える機能です。
希望するロゴを選択してから、Openボタンを押せばログが自動的に転送されて適用されます。



ジェットオーディオのセットアップと使用

iAUDIOのセットアップCDの中には、世界的に有名なマルチメディア統合再生プログラムであるジェットオーディオが含まれています。このJetAudioをインストールするには「CD-ROM:\JetAudio\setup.exe」ファイルを実行してください。ジェットオーディオについての詳しい使い方はインストール後に生成するJetAudioヘルプを参考にするか、Http://www.JetAudio.comのサイトのQnAの掲示板でお問い合わせください。



ファームウエアアップグレードの案内

A. ファームウエアとは?（Firmware）

ファームウエアとはハードウェアに内蔵されているプログラムで、ハードウェアの様々な機能を制御しています。
またファームウエアアップグレードによって、製品の機能を向上させたりバグを修正することができます。

B. ファームウエアにともなう法的限界及び責任公示

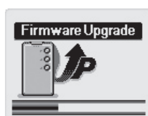
- iAUDIOは、製造社でサポートする正式またはベータバージョンのファームウエアのアップグレードを通して、性能及びメニューが予告なしに変更されることがあります。
- ファームウエアのアップグレード時、メモリーの中に保存されたあらゆるデータが削除される場合があります。したがって iAUDIOに保存された各種 MP3 ファイル及び重要録音 MP3 ファイルは必ず利用者が直接パソコンでバックアップしなければなりません。
- あらゆるファームウエアのアップグレードは、結果的に全体的な性能アップを目的として、当社の判断を基準にして、非定期的にアップグレードを提供します。
- 開発ロードマップ上に含まれている一部ベータ版のファームウエアには、正式版のファームウエアで修正される予定の問題により、多少微細な誤動作を起こす可能性があります。
  このような可能性に対しては、本紙面またはWebサイトにて、事前に公示します。

C. ファームウエアをアップグレードするための条件

- iAUDIO 製品のファームウエアをアップグレードするためには、Windows のOSのUMS 機能が正常動作する基本環境が必要です。
- Windows 98 /ME /XPでは、マイコンピュータの中で iAUDIOというドライブ名を確認することができます。
  Windows 2000ではiAUDIOという文字でなく、‘リムーバブルディスク’として表示されます。
- このように iAUDIO または リムーバブルディスクで正常表示(認識)されている場合のみ、ファームウエアのアップグレードが可能で、もし正常に表示(認識)ができない場合、メインボードの CMOSで USB Deviceの設定が適切であるかを再確認したり、Windowsの再インストールまたはメインボードの USBポートを点検したりすることをお勧めします。

D. ファームウエアのダウンロード及びインストール

- 最新ファームウエアは www.cowonjapan.com で無料ダウンロードできます。
  1. iAUDIOをパソコンに接続します。
  2. ダウンロードしたファームウエアファイル(cowon_m3.bin）を iAUDIOの firmware フォルダにコピーします。
  3. トレイのアイコンをクリックして “ハードウェアの取り外しまたは取り出し”を実行します。
  4. USBケーブルを抜きます。
  5. iAUDIOの電源がオフになったことを確認してAC電源アダプターを差し込みます。
  6. AC電源アダプターを差し込むと、iAUDIOがオンになり、ファームウエアがアップグレードされます。



保証規定（による日本国内での保証）

本製品の無償保証期間はご購入日から本体(バッテリ部含)は1年間、その他アクセサリ関連は3ヶ月間です。お客様の正常な使用状態のもとで万一故障した場合、本保証規定に従い故障箇所の修理をさせていただきますので、購入された販売店に保証書を添えてお申し込みくださるか、弊社サポートセンター宛までご連絡ください。尚、保証期間内においても下記の場合は有償修理となりますのでご注意ください。 弊社の保証は日本国内で使用された場合のみ有効です。また、平行輸入品ならびに個人輸入された製品については有償無償に関わらず、弊社ではサポートサービスはいたしませんのでご注意ください。

1. ユーザー登録されていない場合、またはユーザー登録の記入内容と保証書の内容が一致しない場合
2. 保証書の掲示がない場合
3. 保証書に購入販売店の記名および押印がされていない場合
4. 保証書の所定事項に未記入箇所がある場合
5. 保証書を弊社および、購入販売店の了承を得ることなく訂正した場合
6.お客様による輸送・移動・設置時の落下・衝撃等、お取り扱いが適正でないために生じた事故・損傷の場合
7. 落雷・火災・地震・水害等の天変地異および、異常電圧による故障・損差悪の場合
8. 本製品に接続している機器が原因で発生した故障・損傷の場合
9. 本製品同梱のマニュアル等に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障の場合
10. 異常過電圧、お客様による改造等で生じた故障・損傷の場合
11. ファームウェア更新の失敗等による故障の場合

【責任の範囲について】
本製品の故障および不具合による接続機器の故障・システムデータの消失・遺失利益・その他のあらゆる損害等について、弊社はその責任を一切負いません。 これらは使用者の責任においてご使用することとします。
また、故障品・不具合品の返送にあったって、製品が使用できない期間、及びそれらに関する人件費、再セットアップ費等の補償についても、弊社はその責任を一切負いません。 ご了承ください。

【修理対応についてのご注意】
1. 製品が故障した場合は、必ず購入された販売店に保証書を添えてお申し込みくださるか、弊社サポートセンター宛に必ず「事前連絡の上」ご返送ください。
2. 修理依頼品を返送される際に保証期間内であることを確認するために、保証書や領収書のコピーの同封をお願いします。
3. 製品が故障した場合に弊社技術サポート部に返送または修理中、いかなる場合においても代替品はお送りいたしません。
4. 製品返送の際、特に弊社より指定がない場合は全ての付属品を同梱の上、輸送中製品がダメージを受けないように、必ず箱などにきちんと梱包してご返送ください。 尚、適切な梱包がされていない製品を返送されますと、場合により受け取りを拒否する場合がございますのでご注意ください。

※ 弊社の保証は日本国内においてのみ有効です

This Warranty is valid only in Japan.



株式会社　コウォンジャパン サポートセンター
住所：〒113-0033東京都文京区本郷3-2-3TIKビル5階
サポートセンター：03-5805-6054(土日、
祝祭日を除く10：00~12：00、13：00~17：00)
ホームページ：www.cowonjapan.com